

2022
12月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第220号①【基準日 2022年11月30日】



🌸 社長メッセージ



資産運用を継続するのは簡単なことではない



ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介

皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので12月になり今年も残すところあとわずかになりましたが、いかがお過ごしでしょうか？寒さが厳しくなってきましたので体調を崩されないよう皆さまくれぐれもご自愛ください。

さて、先月のマーケットですが、世界的なインフレを抑制するために米国や欧州を中心に利上げが実施されている中、11月10日に発表された米国の消費者物価指数が予想を下回ったことから、今後の利上げペースが減速するとの楽観的な見通しがマーケットに広がって、株式市場は総じて上昇して長期金利は下落しました。為替相場については、米国長期金利が低下したことを受けて、歴史的な円安水準から一転して、138円台まで大きく円高ドル安が進みました。米国においては、中間選挙が行われましたが、事前予想ではレッドウェーブが起きて共和党が上下両院で過半数を獲得し大きく議席を伸ばす予想でしたが、民主党が大健闘して上院の過半数を維持し、下院も過半数を割り込みましたが、議席数の減少を最小限で抑える結果になりました。また中国では、ゼロコロナ政策を一部緩和するというニュースによって、世界の投資家心理が改善して、株式市場を押し上げる要因になりました。



そのような中で、ありがとうファンドは月間で+0.2%の上昇となりました。世界株は+1.2%の上昇となり、相対的に出遅れました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+3.0%の上昇となりました。

今後のインフレ動向、金融政策、景気後退リスクに注目

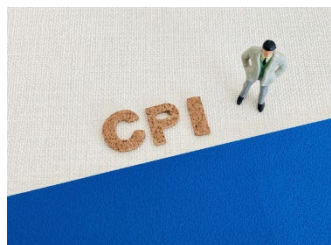
今後の見通しですが、インフレ動向と金融政策・利上げ見通し、景気後退リスクに左右される相場展開が今後も続くものと思われます。今後米国においてインフレが鈍化してくれば利上げスピードの減速、ピークアウトも視野に入りますので、ターミナルレートの水準に注目が集まり金利差拡大を見込んだ為替相場でのドル高円安傾向が反転して、円高がさらに進んでいく可能性が高まるものと思われます。また、大幅な利上げによる景気後退リスクや不動産市場の下落、さらに、債務返済延滞増加による金融危機へ波及するリスクにも引き続き警戒していく必要があります、FRBは難しい舵取りを求められています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

欧州については、エネルギー不足と物価高騰の問題が深刻化していて、冬季を迎える中で、その影響はさらに増してくるものと思われます。早期のウクライナ情勢の収束が難しくなっている中、景気後退は避けられない見通しです。

現在のインフレは、コロナ禍による中国のロックダウンなどによる半導体や部品等の供給制約とロシアに対する米国や西側諸国の経済制裁などによる資源エネルギー・原材料のサプライチェーン上の問題に起因している部分が多く、供給制約が抜本的に解消されない限りは、需要を減らして物価高騰を抑制するしかありません。



利上げによる「景気抑制(後退)⇒需要減少⇒インフレ抑制」までにはある程度の時間がかかるので、景気後退していく中で、ターミナルレートの水準がどのくらいで時期がいつ頃になるのか、利上げ幅とスピードを間違えるとインフレが抑制できなくてスタグフレーションになってしまうリスクも高まってくると思われます。

物価上昇が落ち着いて利上げのピーク感が出てくれば、将来の利下げも織り込んで今まで大きく売られていたグロース銘柄が買い戻されて再び上昇してくると思われますが、その際は赤字企業ではなく景気後退局面でも財務体質が良くて、しっかりと持続的に利益成長していける好業績企業が選別されていくものと思われます。

長期で資産運用を継続するのは簡単なことではない

今年のマーケットは昨年とはガラッと変わって年初から大きく下落調整して始まり、ボラティリティの高い相場が継続してきました。大規模な金融緩和と財政出動に支えられた上昇相場から一転して、一年を通して世界的なインフレ、利上げ・金融引締め、円安進行、景気後退リスク、地政学リスクの高まりに左右される相場となりました。

来年も引き続きインフレ動向と金融政策(利上げ・利下げ)、金利水準(ターミナルレート)、為替相場(円高・円安)、景気後退リスク、地政学リスク(ウクライナ情勢、台湾有事、米中問題、北朝鮮問題)などが注目されており、予測の難しいマーケットになると思われます。

このような不確実性が高い状況の中で、将来の目標に向かって長期で資産運用を淡々と継続していくのは簡単なことではありません。

頭では理解していても、毎日のマーケットの変動や大きな上昇相場や下落相場について反応してしまったり、どうしても余計なことを考えてしまったりするものです。特に資産運用を始めて1～3年くらいの経験の方だとどうしても我慢できずに必要がないのに売買してしまうことが少なくありません。

マーケットは自分が予想した通りに動くことの方が少ないので、短期的な上昇や下落に右往左往せずに5年～10年以上の長期の時間軸で捉えることが大切です。

いつもの繰り返しになりますが、資産運用で成功するためには、短期的な相場変動に一喜一憂したり、相場を予測してタイミングを見計らって売買を繰り返したりするのではなく、不確実性がある前提でマーケットが上昇局面でも下落局面でも長期・国際分散・厳選投資で資産運用を継続することによって分散投資効果でリスクを低減しながら、時間を味方につけて世界経済の成長と企業利益の成長の恩恵を享受していくことが大切であると考えます。



こういう時だからこそ、どっしりと構えて長期の資産運用を継続していくブレない心構えが大切です。

新投資先としてラザード・アセット・マネージメントのファンドを2本追加

ありがとうファンドでは、11月30日付で信託約款を変更して、中長期的な運用成果の向上を目指して投資先ファンドを追加いたしました。追加した投資先ファンドは、『ラザード・グローバル・クオリティ・グロース・ファンド』と『ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド』です。

両ファンドとも、ニューヨークに本社を置く歴史ある投資銀行の資産運用部門である「ラザード・アセット・マネージメント」社が運用を行っています。同社は株式運用の中でもアクティブ運用に注力しており、機関投資家や公的年金などを主な顧客として、資産運用業務を行なっています。

LAZARD
ASSET MANAGEMENT

『ラザード・グローバル・クオリティ・グロース・ファンド』は、世界のクオリティ銘柄に長期投資するファンドで、特長はクオリティ(質)&グロース(成長)に注目し、投下資本に対して高い持続的な収益創出力を有し、同様の高い投下資本リターンでキャッシュフローを再投資することにより、将来における成長の持続性が期待されるクオリティ企業(コンパウンダー)を投資対象としています。

もう一つの『ラザード・グローバル・エクイティ・フランチャイズ・ファンド』は、世界の割安成長銘柄に厳選投資するファンドで、特長は独自の銘柄選定アプローチによるバリュー運用戦略で、“競争優位、企業としての安定性および高い収益の予見可能性を有する企業(エコノミック・フランチャイズと定義します)”に着目し、厳選投資を行います。

両ファンドともに年金向けの戦略コンポジットにおいて良好な運用実績を上げており、今年の下落調整局面においてもアクティブファンドとしての銘柄選択効果を発揮して安定した運用成果を残しております。

新投資先ファンドを追加することで、今後のありがとうファンドの中長期的な運用成果の向上に貢献してくれるものと期待しております。

なお、新投資先ファンドの詳細については来年紹介セミナーの開催を現在企画しているところです。詳細が決まりましたらHP等でご案内させていただきます。

弊社では、長期的な時間軸で物事を捉えて右往左往せずに、短期的な相場動向に一喜一憂することなく、世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散・厳選投資で基本に忠実に資産運用の王道をブレずに歩んで参ります。

最後になりますが、少し早いですが皆さまのご支援のおかげで役職員一同、無事に一年を終えられそうです。誠にありがとうございました。今後もお客様の資産運用を一生涯サポートしていけるように安定した運用成果の提供と資産運用サービスに磨きをかけて参ります。

来年も引き続きありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	25,549円	▲1.4%
3年	23,146円	+8.9%
5年	20,900円	+20.6%
10年	16,929円	+48.8%
初回(2004年10月)から	12,519円	+101.3%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	11万8344円
3年	36万円	39万1893円
5年	60万円	72万3316円
10年	120万円	178万6031円
初回(2004年10月)から	218万円	438万7556円

2022年11月30日現在(基準価額:25,196円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。

※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。

※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

年末年始の営業時間のお知らせ

年末年始の営業時間及び注文申込受付時間につきまして、下記の通りとなります。
尚、注文申込受付時間以降のお申込みにつきましては、翌営業日の受付扱いとなります。
また、「マイページ WEB システム」は、年末年始もご利用いただけます。

	営業日	営業時間	注文申込受付時間
年末	2022/12/30(金)	8:30～17:30	8:30～15:00
年始	2023/1/4(水)		

年内に受渡を完了する最終注文日についてのお知らせ

特定口座で年内の受渡完了を希望されるお客さまは、以下が最終注文日となります。
尚、注文の締切時間は 15 時となります。15 時を過ぎますと翌営業日以降の注文となりますのでご注意ください。

注文区分	受付日	約定日	受渡日
購入	12/27(火)	12/29(木)	12/30(金)
換金	12/23(金)	12/27(火)	12/30(金)

目論見書改訂のお知らせ

『ありがとうファンド』の有価証券届出書を 11 月 30 日付で関東財務局に提出したことに伴い、目論見書の記載内容を変更いたしました。目論見書の交付をご希望のお客さまには、マイページ上での交付、または郵送させていただきましたので、ご確認くださいませようお願いいたします。

尚、今後目論見書の交付が不要なお客さまは、弊社カスタマーサービス部までお問い合わせください。(※目論見書の重要な変更時にはすべてのお客さまにお送りいたします。)

また、ホームページ上にも目論見書を公開しております。

こちら(<https://www.39asset.co.jp/39fund/prospectus/>)からご覧ください。



🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助になれば幸いです。



～高額療養費制度について～

コロナ禍の長引く自粛生活やコロナ対策による様々な悪影響などもあってか、今年に入ってから体調を崩したり、病気になって治療や手術を受けたという話を身近で聞くことが増えてきたように思います。病気で治療や手術、入院をすると、皆さま医療費のことが気になると思います。テレビやネットで医療保険やがん保険の広告CMを見て、病気に備えて民間の保険に加入しておこうと検討される方も少なくないかもしれませんが、保険に加入する前に知っておいて頂きたいのが高額療養費制度についてです。

高額療養費制度は、「医療機関や薬局の窓口で支払った額（但し、入院時の食費負担や差額ベッド代等は含まない。）が、ひと月（月の初めから終わりまで）で上限額を超えた場合に、その超えた金額を支給する制度」です。例えば、年収約370～約770万円の会社員の方の場合、窓口負担は3割なので、入院したひと月の医療費が100万円の場合、自己負担は30万円になりますが、高額療養費制度でのひと月の自己負担の上限額は87,430円（＝80,100円＋（100万円－267,000円）×1％）になりますので、30万円－87,430円＝212,570円が高額療養費として支給されます。実際の自己負担額は87,430円となり、自己負担3割よりも大幅に少ない負担額で済むことになります。なお、毎月の上限額は、加入者が70歳以上かどうかや、加入者の所得水準によって分けられます。また、70歳以上の方には、外来だけの上限額も設けられています。

<70歳以上の方の上限額（平成30年8月診療分から）>

適用区分		外来(個人ごと)	ひと月の上限額(世帯ごと)
現役並み	年収約1,160万円～ 標準83万円以上/課税所得690万円以上	252,600円＋(医療費－842,000)×1％	
	年収約770万円～約1,160万円 標準53万円以上/課税所得380万円以上	167,400円＋(医療費－558,000)×1％	
	年収約370万円～約770万円 標準28万円以上/課税所得145万円以上	80,100円＋(医療費－267,000)×1％	
	年収156万円～約370万円 標準26万円以下 課税所得145万円未満等	18,000円 年14万4千円	57,600円
一般	II 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	I 住民税非課税世帯 (年金収入80万円以下など)		15,000円

注 1つの医療機関等での自己負担（院外処方代を含みます。）では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の支給対象となります。

<69歳以下の方の上限額>

適用区分		ひと月の上限額(世帯ごと)
ア	年収約1,160万円～ 健保：標準83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円＋(医療費－842,000)×1％
	年収約770～約1,160万円 健保：標準53万円～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	167,400円＋(医療費－558,000)×1％
イ	年収約370～約770万円 健保：標準28万～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	80,100円＋(医療費－267,000)×1％
	～年収約370万円 健保：標準26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円
オ	住民税非課税者	35,400円

注 1つの医療機関等での自己負担（院外処方代を含みます。）では上限額を超えないときでも、同じ月の別の医療機関等での自己負担（69歳以下の場合は2万1千円以上である必要があります。）を合算することができます。この合算額が上限額を超えれば、高額療養費の支給対象となります。

高額療養費制度を利用すれば、大きな病気で入院・手術をして医療費がたくさんかかっても上限額までの自己負担で済むので、医療保険やがん保険にたくさん入っていないなくてもある程度の貯蓄があればなんとか対応できそうです。さらに大企業の健康保険組合では独自の付加給付を行っている場合があり、高額療養費制度の上限負担額の一部を負担してくれて、実質自己負担が約2万円で済む健保組合もあります。とても手厚い付加給付制度ですが、注意点としては健保組合の付加給付は原則企業に勤めている間だけのもので定年退職後、高齢になって医療費がかかる状態になったときには給付を受けられないことや制度が今後ずっと続くかわからないことです。

保険に入るときに大切なことは、将来不安や周りが皆入っているからという理由で安易に加入するのではなく、ライフプランニングに基づいてリスク管理の観点から病気やケガをした場合にどのくらいの医療費がかかるのか高額療養費も加味して自己負担額がどのくらいになるか試算して、それを保険でカバーするのか、貯蓄で賄うのか支払う保険料合計額と保障内容のバランスや現在の貯蓄額の水準などを考慮して決めることです。

なお、高額療養費制度の詳細について[厚労省](#)や[協会けんぽ](#)のホームページをご確認頂ければと思います。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうの本棚

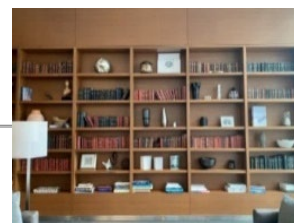
弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。

～今月の一冊～

マスクを外す日のために
今から始める、ウィズコロナの健やかな生き方（幻冬舎新書）
新書 - 2022/5/25 和田 秀樹（著）

コロナ禍が始まってもうすぐ3年が経とうとしている。感染対策のためのマスク生活も当たり前のようにになっているが、マスクをずっとしていることの健康上のデメリットについてはテレビや新聞で語られることはほとんどない。本書の中で著者は、マスクを常時つけていることにより、酸素不足で頭痛になったり、脳の力が衰えて認知機能が低下したり、免疫力が落ちて逆に感染しやすくなったり、子供の発育・成長に深刻な悪影響が出るなどのデメリットがたくさんあることを述べており、その中でも最大のデメリットは「人の表情が読めなくなる」ことであるそうだ。さらに、マスク着用や外出自粛を含めた感染対策によって高齢者が要介護状態になったり、まじめに自粛している人がうつ病になったり、家飲みの増加でアルコール依存症になるリスクが高まる危険性も訴えている。そして、同調圧力からの過度な自粛やマスク依存から脱却して、ウィズコロナの生き方、マスクなしでも不安にならないための免疫力の高め方を助言している。

欧米中心に海外では既に昨年からのコロナに対する規制をほとんど撤廃してコロナ前の日常生活が戻っている。国際会議では岸田総理もマスクをしていないし、ワールドカップ中継では観客は密集して声を出して応援しているが、誰もマスクはしていない。一方、日本ではほとんどの人がマスクをしているのに、感染者数が世界で一番多いというのが現状である。このおかしさに日本人もそろそろ気付いて疑問を持ってよい頃なのではないかと思う。そもそもマスクの感染予防効果については、海外で行われたランダム化比較試験では、マスクを着けていた人と着けていなかった人で統計的に有意な差はないという結果も出ている。自分の頭で考えて、デメリットの多いマスクを外す日のためにも本書を一読することをおすすめする。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2022年 12月分	11月2日(水)	11月24日(木)	12月6日(火)	12月14日(水)	12月16日(金)
2023年 1月分	12月5日(月)	12月23日(金)	1月6日(金)	1月17日(火)	1月19日(木)
2023年 2月分	1月5日(木)	1月25日(水)	2月6日(月)	2月14日(火)	2月16日(木)
2023年 3月分	2月3日(金)	2月21日(火)	3月6日(月)	3月14日(火)	3月16日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

12月	26日(月)	クリスマス(振替) 聖ステファノの日	ニューヨーク証券取引所休業日 ルクセンブルクの銀行休業日
1月	16日(月)	キング牧師誕生日	ニューヨーク証券取引所休業日



ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様への投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.45% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出してあります。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

■R&I ファンド大賞について

R&Iファンド大賞は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

